

選考結果総括表

府省庁名 内閣府

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)日本医療 研究開発機構	理事					大谷 泰夫	61	内閣官房参与 [OB]	応募総数 3名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人日本医療研究開発機構役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	新設法人										
公募 理事							大谷 泰夫	61	内閣官房参与	理事長	H27.4.1
監事 (非常勤)											
監事 (非常勤)											

(独) 日本医療研究開発機構理事選任理由

本法人の使命は、医療分野の研究開発における基礎的な研究開発から実用化のための研究開発までの一貫した研究開発の推進等を図るため、医療分野研究開発推進計画に基づき、研究機関の能力を活用して行う医療分野の研究開発等の業務を行うことにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、法人の長を補佐し、経営企画、総務、経理といった管理業務から、研究公正、知的財産取得・管理等の研究支援業務、医療分野の研究開発の事業に関する業務全体を総括し、また、理事長が定めるところにより、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行うこととなる。

本件公募に対しては、3人の応募があり、選考委員会による書類選考を経た3人の候補者について、選考委員会が面接を行った上で、適任と判断される1人を選び、任命権者である理事長となるべき者に他の2名の情報とともに提示したところ、理事長となるべき者も、大谷 泰夫氏を最適任と判断し、所管大臣との協議を経た上で選任したところである。

任命理由は、厚生労働省において組織のマネジメントの経験を有し、同省では医政局長をはじめとして医療行政を担当するなど、医療分野の研究開発の情勢や政策の動向等に精通していることから、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人に期待される役割を着実に果たしていくとの明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、医療法、医薬品医療機器等法、再生医療新法等の制定・改正、臨床研究中核病院制度の創設、国立がん研究センターなどの運営管理をはじめとして、我が国の医療分野の研究開発も含む諸課題に対応した経験や実績を有するという強みをもっており、所管大臣及び理事長となるべき者もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【内閣府】

- ・ 独立行政法人日本医療研究開発機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学総長	1名
・ 大学教授	1名
・ ジャーナリスト	1名
・ 団体役員	1名
計	4名